

(二十丁一ウ〜二十五丁オ)

六甲の夢うらなひ

これハ六十日の甲子かつしによつて、ゆめのよしあしをうらなひて、くわしくこゝにしるす、

甲子日きのへねのひ

今日夢をミれば、親したしき人遠方えんぱうへ行ゆくことあるべし、

乙丑日きのとうし

同 西にしの方ほうよりまねかれて、酒食しゆしょくのもてなしにあふなり、

丙寅日ひのへとら

同 我家わがいえに思おもひがけなき人きた来りて、吉事きちじを告つげることあり、

丁卯日ひのとう

同 南みなみの方ほうのしるべの家いえに公事くじ沙汰さたあつて、心配しんぱいあるべし、

戊辰日つちのへたつ

同 北きたの方ほうに入組いりぐみしもめごとあつて、呼よびに来きたるべし、

己巳日つちのとみ

同 西にしの方ほうにむつかしきさうだんごとでできるなり、

庚午日かのへむま

同 東あづまの方ほうに人ひとあつまることあつて招まねかれ心しんはいあるべし、

辛未日かのとひつじ

同 酒宴しゆえんのもよほしありて、ともものあつまる事ことあるべし、

壬申日みづのへ

同 我家わがいえによるこび事ことありて、おゝいによし、

癸酉日みづのへ

同 北の方凶事ありて、いろくと苦勞あるべし、

甲戌日きのへいぬ

同 鬼神のたゝりにてさいなんあり、つゝしむべし、

乙亥日きのとい

同 東の方に悦び事ありて、まねかるべし、

丙子日ひのへね

同 東の方の知る人に金銀を失ひ、心配の事あるべし、

丁丑日ひのとうし

同 南の方にゆきて相談事にかゝり合心配あり、

戊寅日つちのへとり

同 西の方に悦び事ありて、呼に来るべし、

己卯日つちのとらう

同 おもひよらず金銀をもらひ得る事のできるなり、

庚辰日かのへたつ

同 我家へ遠方より客人きたる事あるべし、

辛巳日かのとみ

同 南の方の家に悦び事ありて、馳走にあふべし、

壬午日みづのへむま

同 南の方にあらそひ事ありて、心配できるなり、

癸未日みづのとひつじ

同 西の方より女きたりて吉事を告る事あるべし、

甲申日きのへさる

同 西の方のしるべより呼に来る事ありて大によし、

乙酉日きのととり

同 東の方の親るいに凶事ありて心配あるべし、

丙戌日ひのへいぬ

同 南の方のしるべに世話のかゝる訳合出来るなり、

丁亥日ひのとて

同 おもひよらぬ人來りて入組し相談あるべし、

戊子日つちのへね

同 我身に家督のつく事出来るなり、

己丑日つちのとらし

同 我家に悦びごとありて酒宴のもよふしあり、

庚寅日かのへとち

同 よろこび事ありて尚金銀をもうける事出来る也、

辛卯日かのとら

同 東の方のしんるいにもめ事ありて心配あるべし、

壬辰日みづのへたつ

同 わが家に喜び事ありて大いによし、

癸巳日みづのとみ

同 東の方より金銀をまふける事あるべし、

甲午日きのへむま

同 我家に悦び事ありて酒宴の催しあり、

乙未日きのとひつじ

同 北の方知音にあらそひありて心配あるべし、

丙申日ひのくさる

同 思ひがけざる客人来りて、こんざつする事あり、
丁酉日

同 南の方親しき人にもめ事ありて呼に来る、
戊戌日

同 遠方より人来りて、吉事を告る事あるべし、
己亥日

同 永く不和なりし人の和睦する事あり、
庚子日

同 祝儀事ありて客を迎へもてなす事あり、
辛丑日

同 西の方のしるべに酒えんの催しありて呼に来る、
壬寅日

同 他人のあらそひ事出来るなり、つゝしむべし、
癸卯日

同 北の方より思ひよらず吉事を告来るべし、
甲辰日

同 かねておもひ事叶ひて大いによし、
乙巳日

同 南の方のしるべに悦び事ありて共によし、
丙午日

同 思ひがけなき悦びありて、酒宴のことあるべし、
丁未日

同 我家に喧嘩口ろんの事あり、つゝしむべし、

戊つちのへ申日さる

同 北の方に婚姻こんいんのよろこびありて大によし、

己つちのとと酉日ち

同 南の方の知己しるべに心配しんぱい事できてあしく、

庚かのへいぬ戌日

同 東の方親しんるいにきやくありて、呼よびに来る也、

辛亥日かのとい

同 遠方えんぱうより来客らいきやくありて俄にわかにこんざつのことあるべし、

壬子日みづのへね

同 東の方朋友ほうゆうの家いへよりもめ事あつて心配しんぱいあるべし、

癸みづのとうし丑日

同 南の方ゆきに行てかねての思おもひ事叶かなふ、大によし、

甲寅日きのへとり

同 するべの方より菓物くだものをもらふ事あり、

乙卯日きのとう

同 西の方より金銀きんぎんを送り来りて徳とくを得る也、

丙辰日ひのへたつ

同 北の方の親さうだんるいに相談さうだん事ありて呼よびに来るべし、

丁巳日ひのとみ

同 西の方の家いへに公事くじ沙汰ざたありて心配しんぱいあり、

戊つちのへむま午日

同 神かみを祭まつる事ありて酒しゆしよく食もてなしにあづかるなり、

己つちのとひつじ未日

同 金銀をまふける事出来て大いによし、

庚申日

同 遠方の縁者きたりて吉事を告るなり、

辛酉日

同 わが家にいろく入組し訳合ありて心配あるべし、

壬戌日

同 東の方の家にて金銀をまふける事あるべし、

癸亥日

同 北の方の家にもめ事ありて世話かゝるべし、

○夜中に鬼神のはなしすべからず、邪魅をみちびきて悪し、

○夜中歩行に高声に謡をうたひ、或ハ小歌又ハ浄るりなどすべ

て叫び呼べからず、おそらくハ邪気を引入る事あり、